

地域福祉計画に係る アンケート調査の結果について

< アンケート調査の概要 >

1 調査目的

アンケート調査は、地域福祉に関する意識やニーズを調査し、計画策定の基礎資料とするために実施した。

2 方法

(1)調査票の配布方法

町内在住の満20歳以上の住民(外国籍含む)から性別・年齢階層別の比率で対象を無作為に800人抽出し配布した。

(2)調査期間

①発送: 2026年6月15日(月)

②回収期限: 2026年7月10日(金)

3 調査票配布先

調査票は、下記の表のとおり、性別・年齢階層別に対象を抽出し、配布した。

年齢階層	性別		全体
	男	女	
20代	57	46	103
30代	53	38	91
40代	80	75	155
50代	64	63	127
60代	65	64	129
70代	57	59	116
80代以上	31	48	79
全体	407	393	800

4 結果

(1)調査回収率

調査票返送 346人 回収率 43.3%

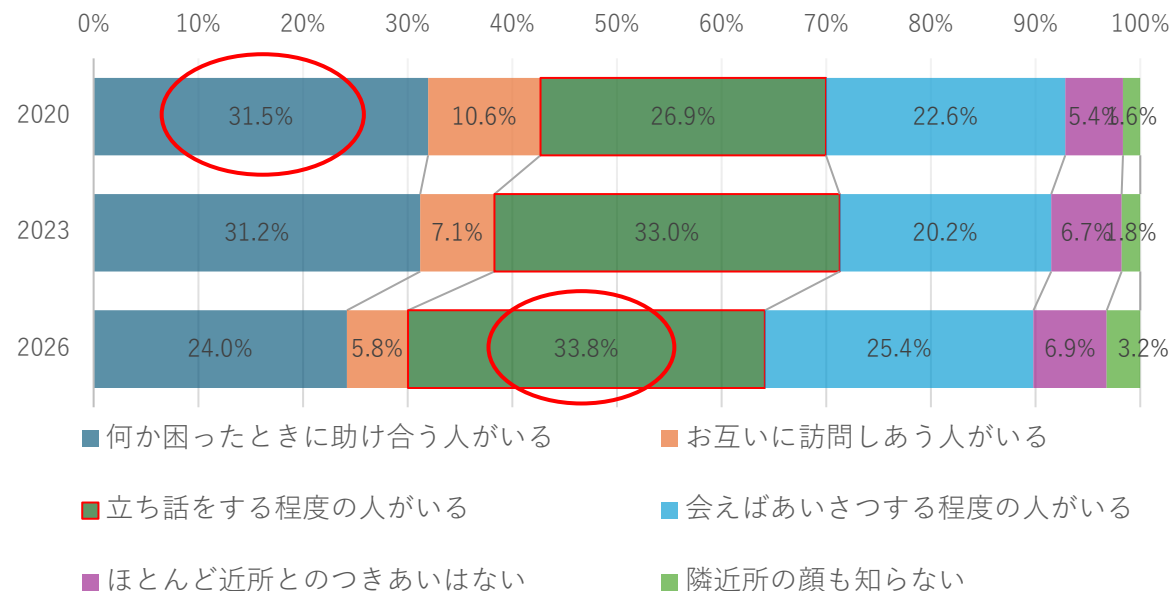
(2)解析対象者

解析対象者数 345人 ※回収した346人分の調査票のうち、性別または年齢についての情報が欠損している者(無回答)が1人いた。

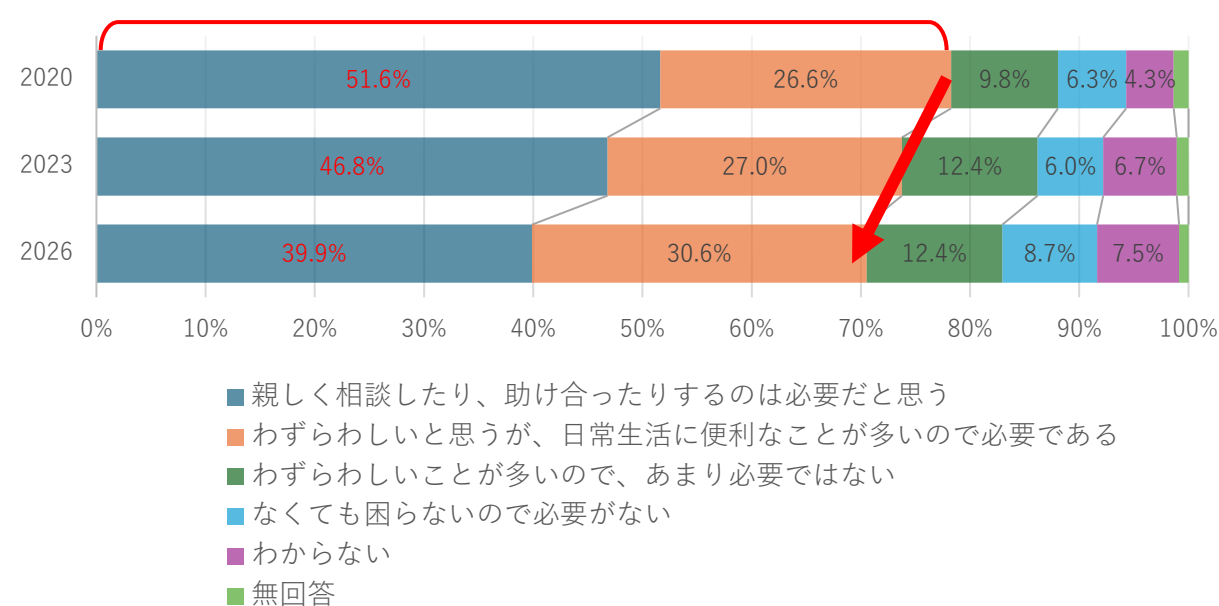
年代を20・30代、40・50代、60代・70代以上の4階層に分け解析を行った。

1. 思いやり支え合えるひとづくり (1) お互いを尊重し支え合う意識づくり / (2) 地域福祉を支える人材の育成・支援

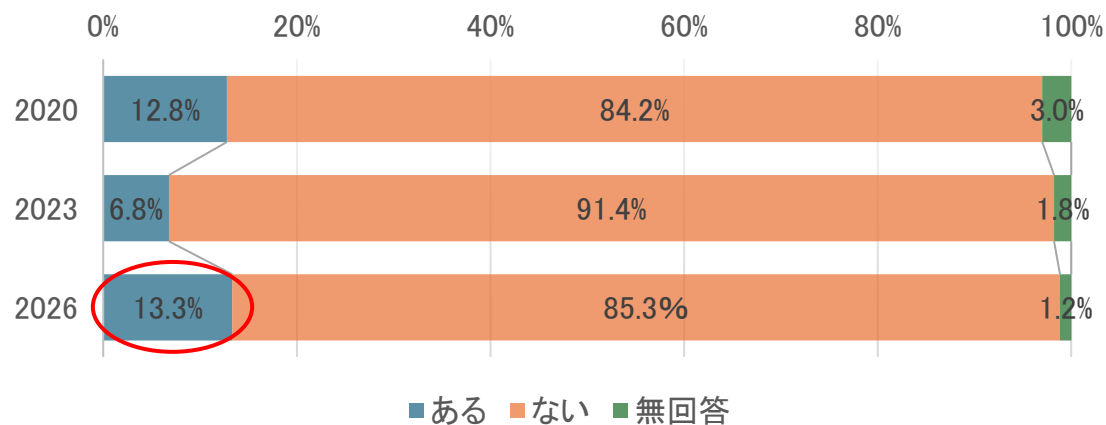
問7. ご近所との関係は次のどれに最も近いですか？



問8. ご近所との付き合い方の考え方は、どれに近いですか



問15.ここ1年の間にボランティア活動に携わったことがありますか

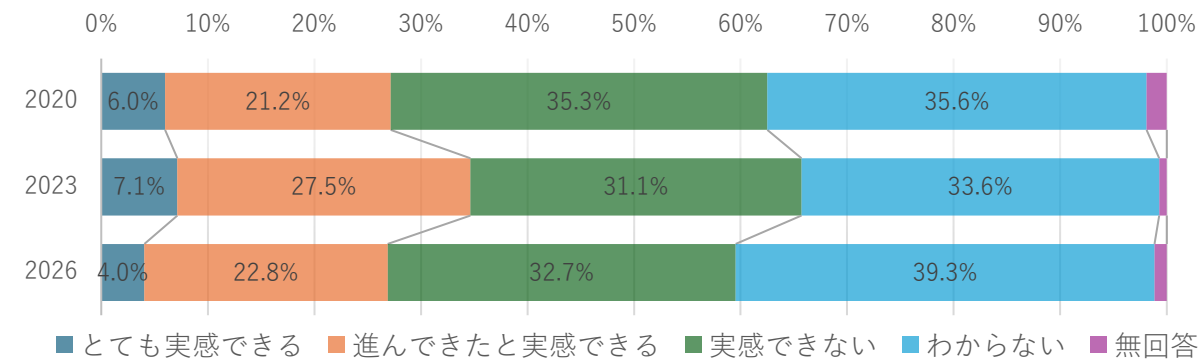


- ご近所との関係について、2020年は「何か困ったときに助け受け合う人がある」が1位だったが、2026年度は「立ち話をする程度の人がある」が1位。
- 地域での交流や支え合い活動の必要性は理解しているものの必要としている人は減少傾向
- ボランティア活動への参加については、コロナ渦にて減少したものの、増加している。

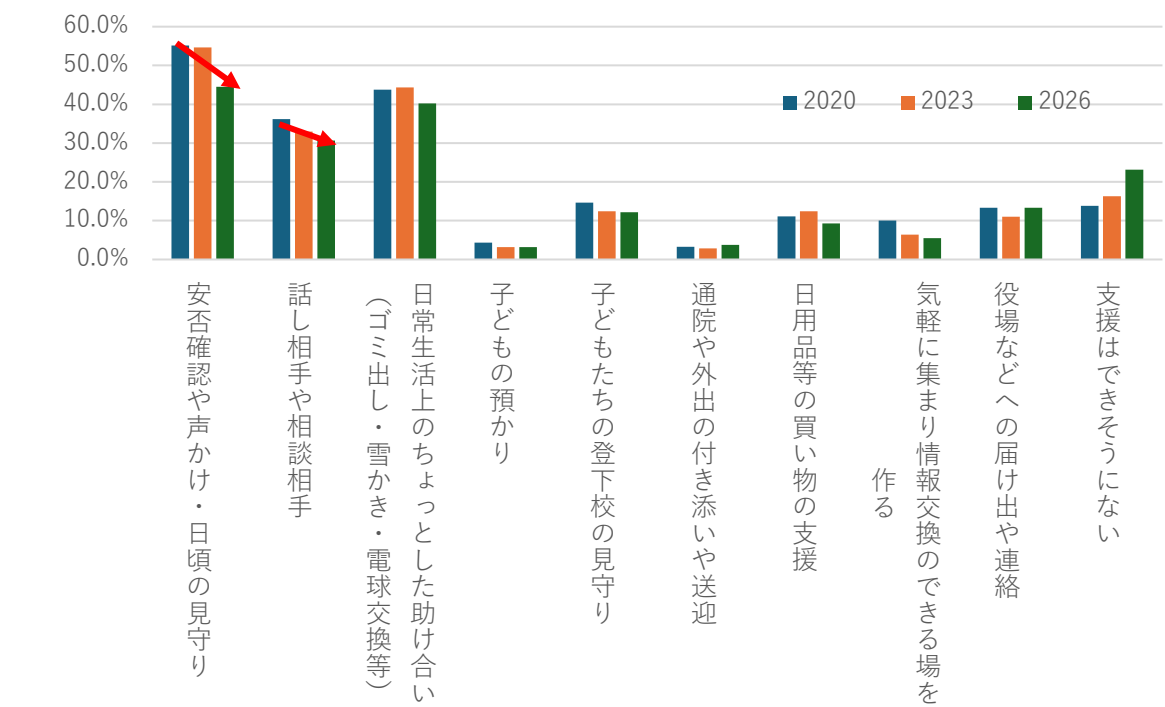
近所づきあいの希薄化は進んでいるものの、必要性の理解はある。
ボランティア等への活動への意欲は向上している

2. 誰もが自分らしく暮らせるお互いさまの地域づくり/（1）住民主体による支え合いの促進

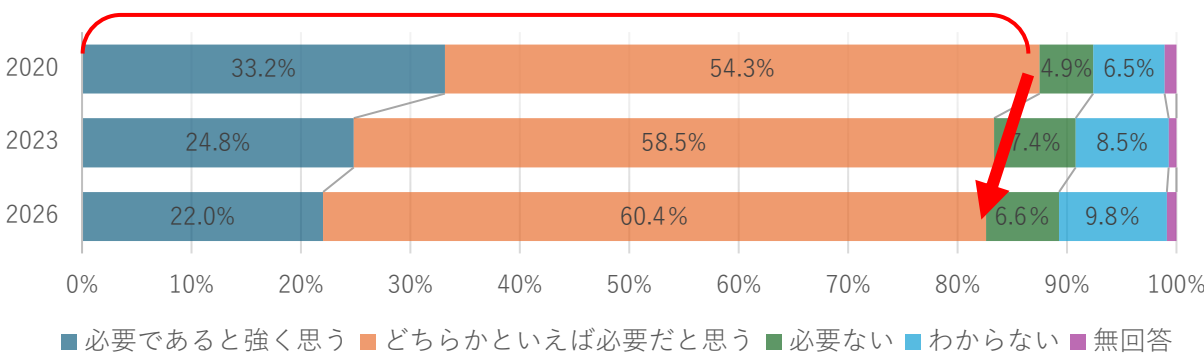
問13.「支え合い活動」の充実を普段の生活で実感できますか



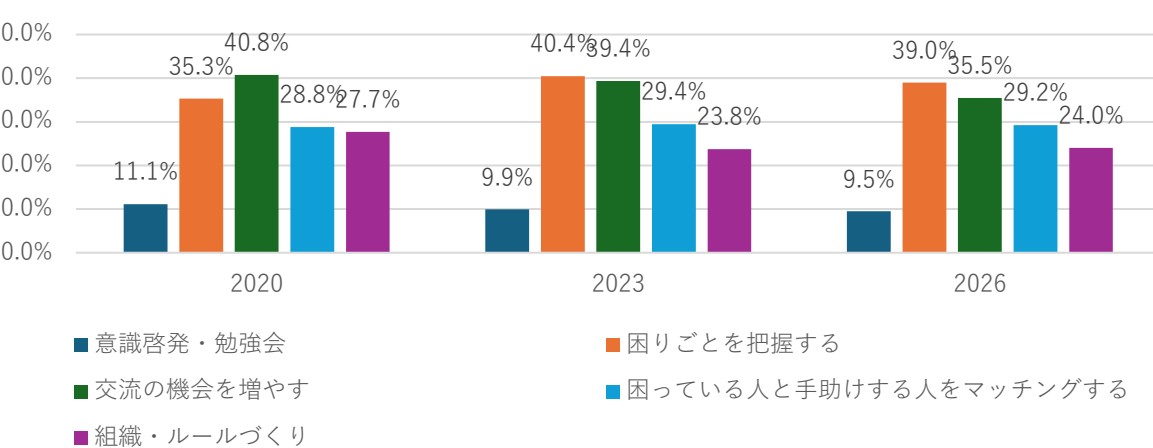
問12.ご近所の人困っているとき、あなたができることやできそうなこと



問9. 地域やご近所での「支え合い」は必要だと思いますか



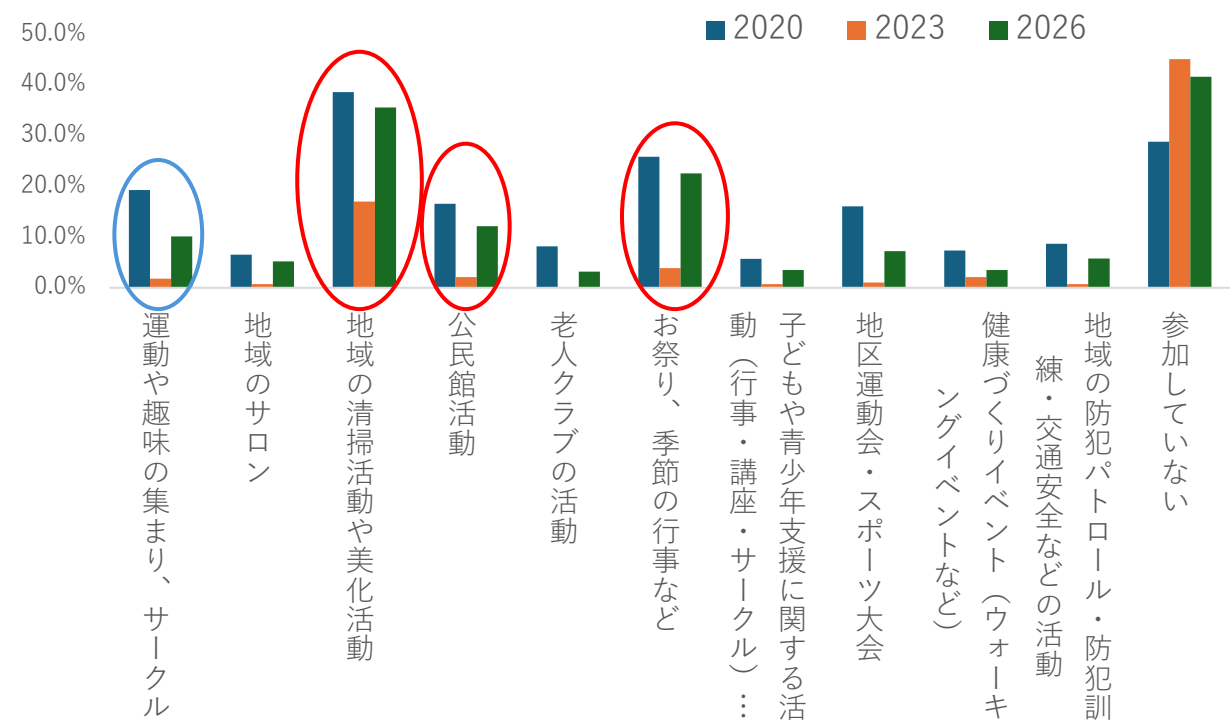
問10.「支え合い活動」を充実させるために必要な取り組み



- ご近所での支え合いの必要性について、「強く必要」「どちらかと言えば必要」が82.4%と大多数だが、減少傾向ではある。
- ご近所の困りごとに対して個人でできそうなことも減少傾向。

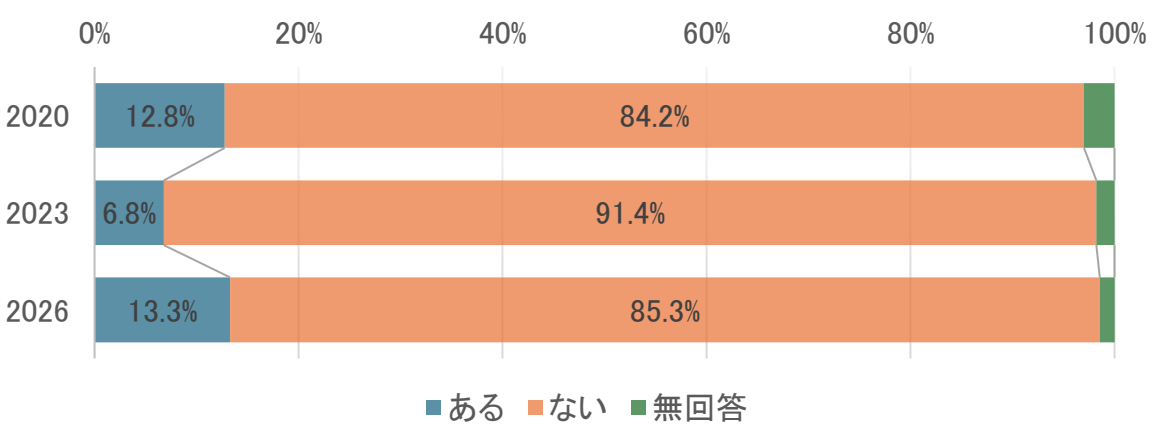
2. 誰もが自分らしく暮らせるお互いさまの地域づくり
(2) 自分らしく生きがいをもって暮らせる地域づくりの推進

問14.ここ1年以内で、あなたは地域で行われた活動に参加していますか

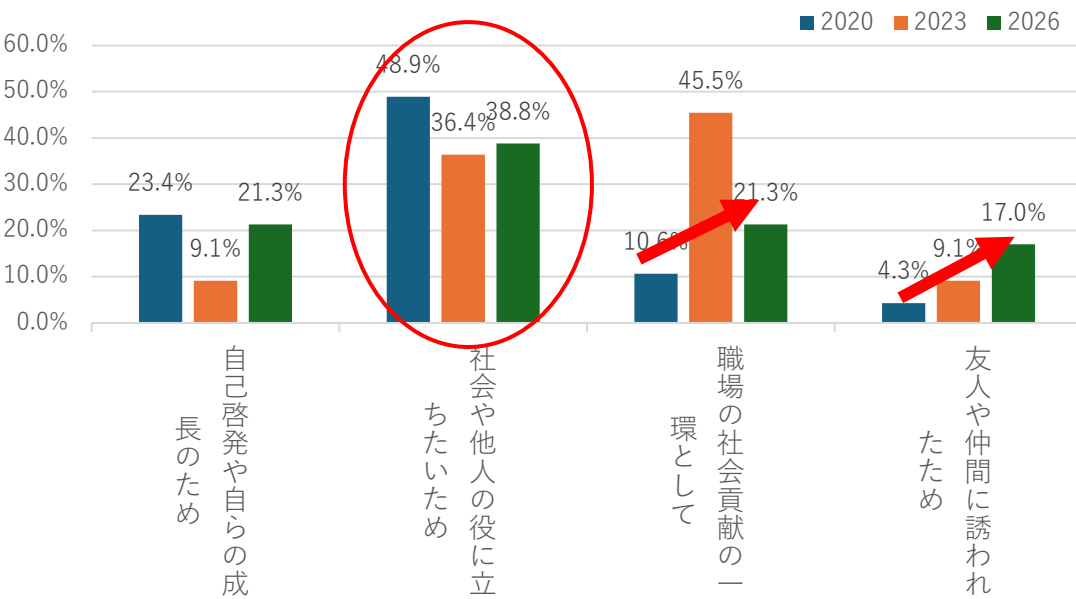


- よく参加されている活動に大きな変動はないが、減少傾向。
- ボランティア活動への参加は増加している。
- ボランティア参加の理由は個人としての成長、社会貢献よりも、職場の社会貢献や友人・仲間との活動が多く、きっかけづくりになっている。

問15. ここ1年間の間にボランティア活動に携わったことがありますか

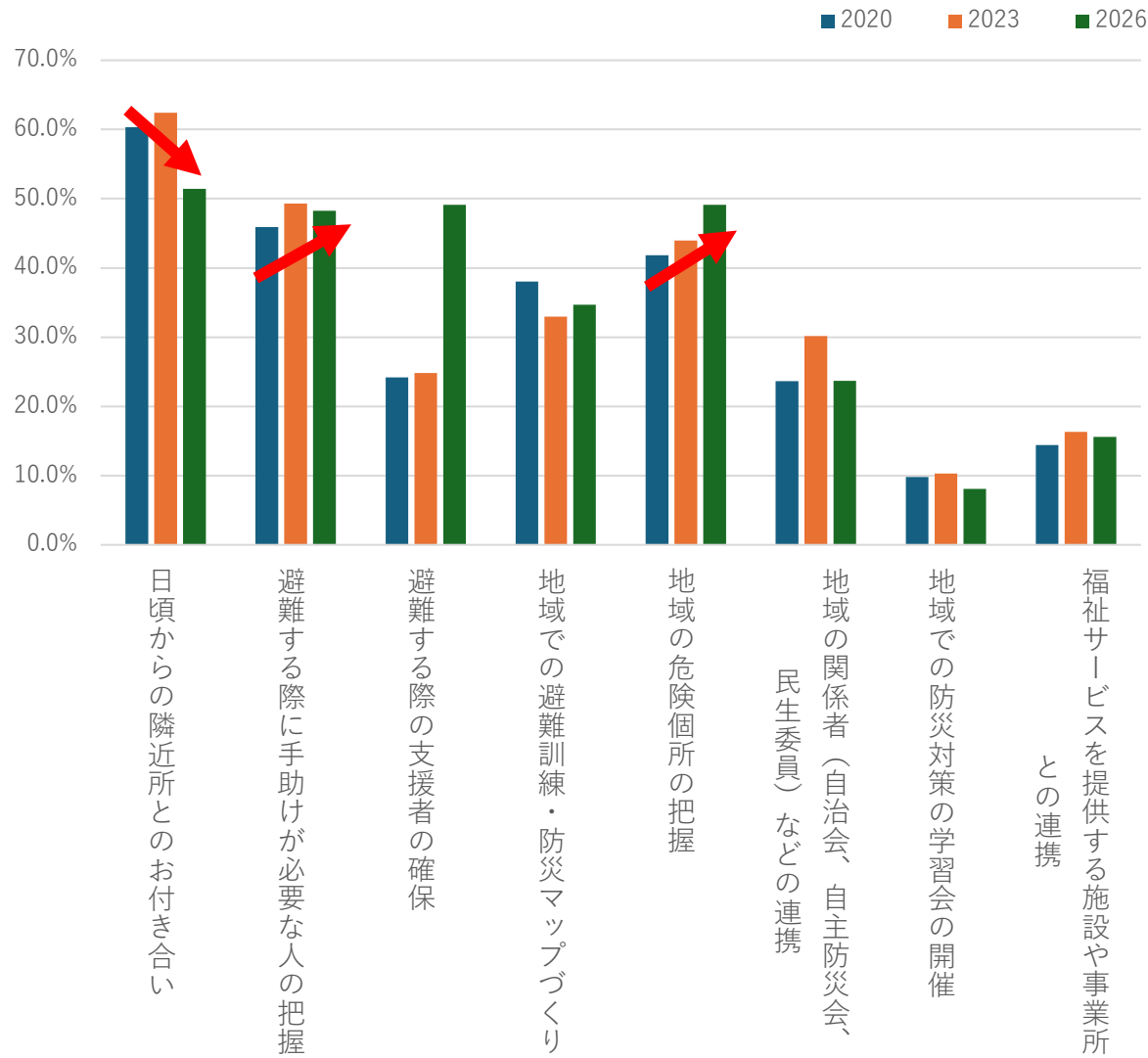


問16. ボランティア活動に参加した理由

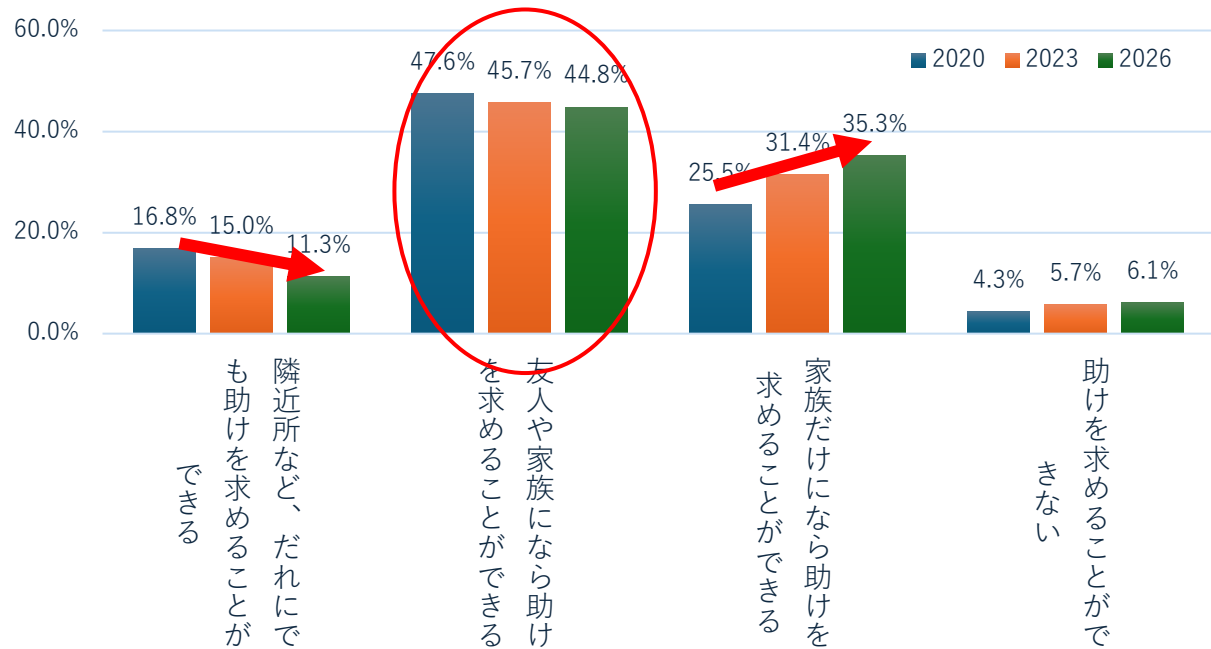


2. 誰もが自分らしく暮らせるお互いさまの地域づくり/（3）災害時に備えた地域づくりの推進

問23.災害時に住民が支え合う地域づくりに必要なもの



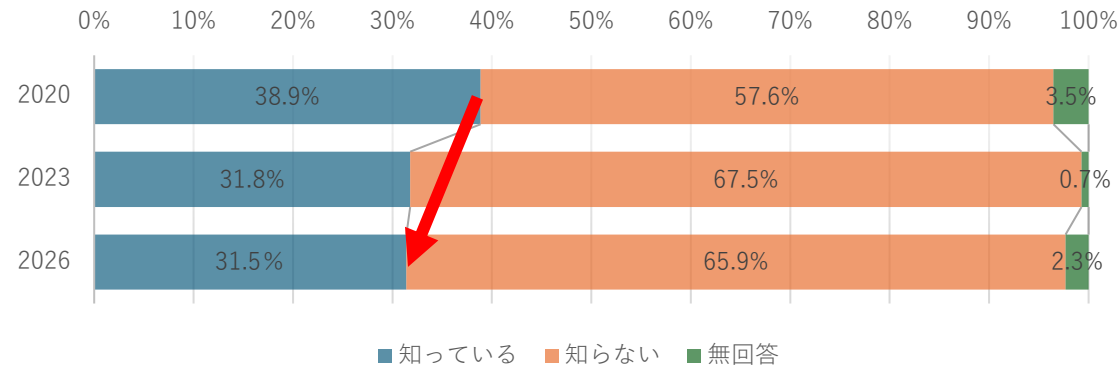
問20. あなたは困っているときに助けを求めることができますか



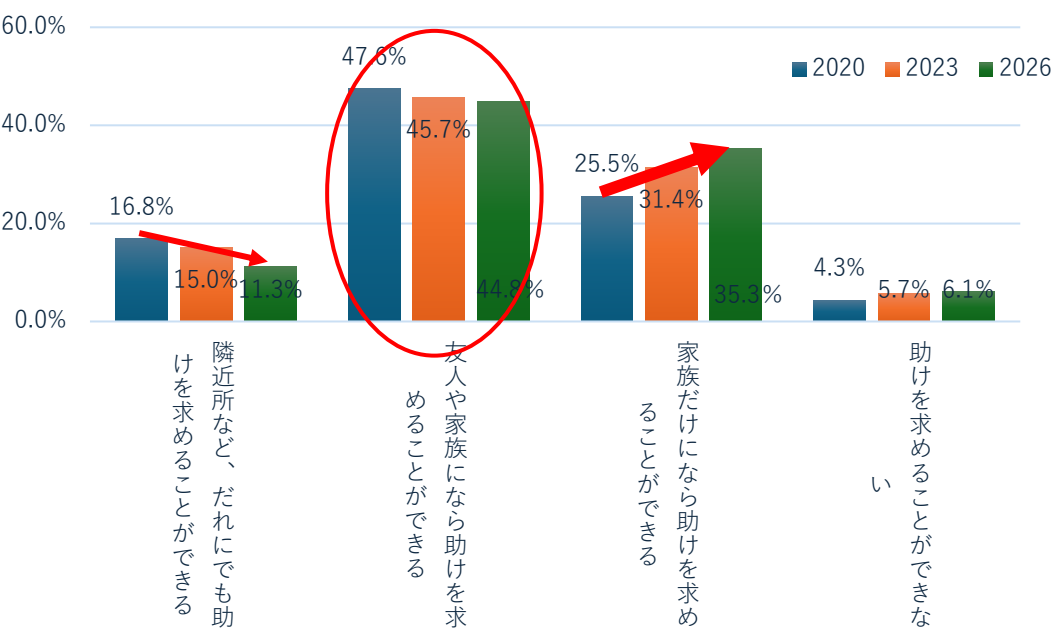
- 地域やご近所での付き合いや支え合いの必要性は感じている人は多いものの、減少傾向にある。
- また、自身も隣近所に助けを求めることができる人が減少している。
- 隣近所よりも家族・親族（身内）を頼る傾向。

3. 誰もが安心して暮らせるしくみづくり
(1) 困りごとを抱えた住民に対する包括的な支援体制の推進

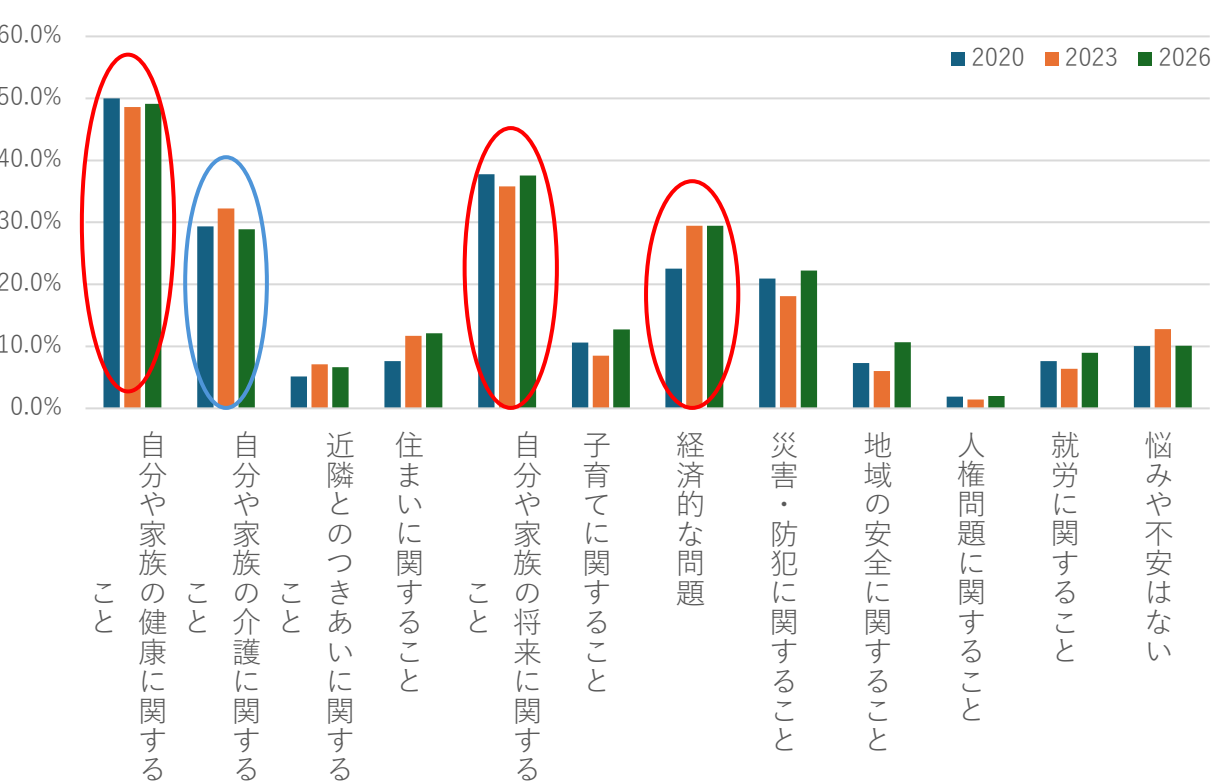
問22.「困りごと相談窓口」をご存じですか



問20. あなたは困っているときに助けを求めることができますか

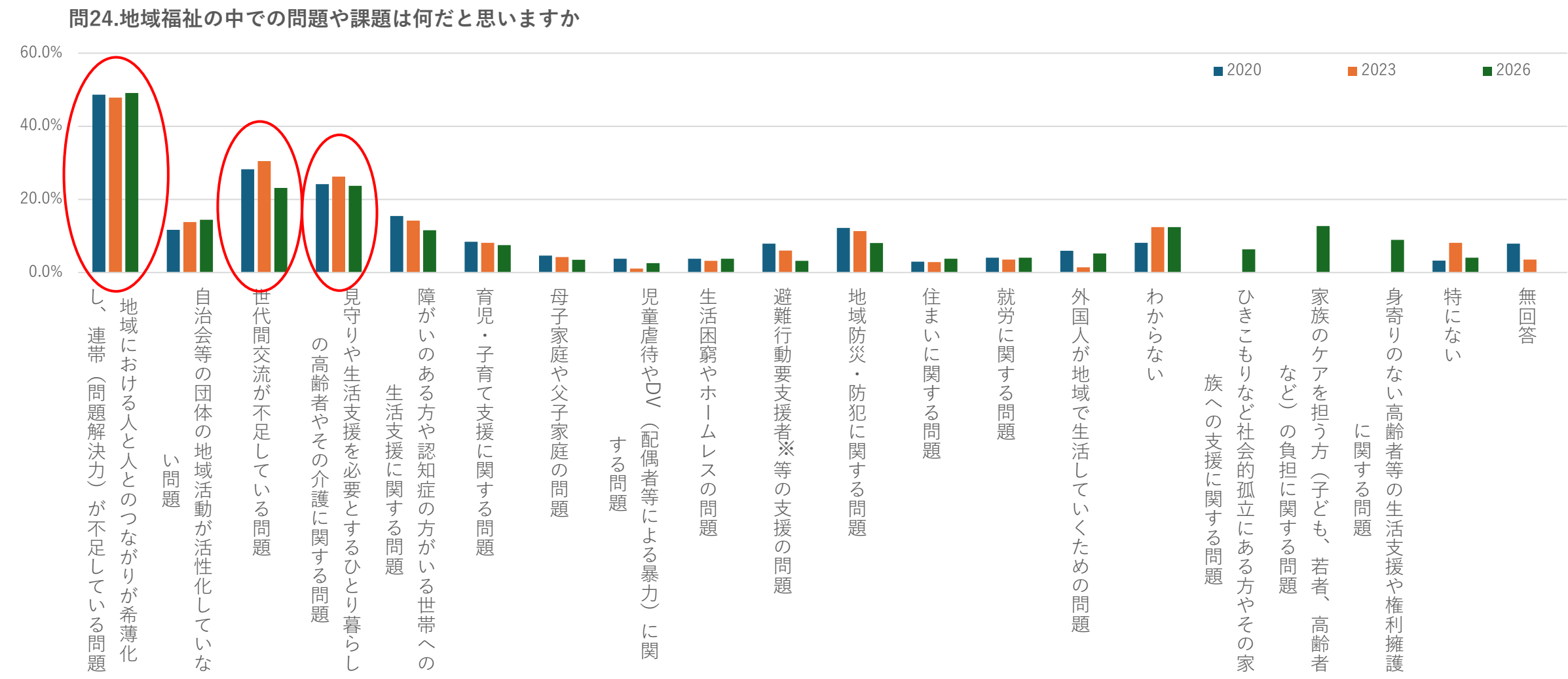


問19. 普段の暮らしの中で感じている不安や悩み



自分や家族の健康や将来、介護などの不安や悩みを抱えている人が多いが、困りごとを相談機関へ相談できずに家族だけで抱えてしまう傾向が見える

3. 誰もが安心して暮らせるしくみづくり/（2）安全安心なまちづくり



住民が感じる課題上位3つの傾向は変わらない

- 地域における人と人とのつながりが希薄化し、連帯（問題解決力）が不足している問題 49%
- 世代間交流が不足している問題 23%
- 見守りや生活支援を必要とする一人暮らしの高齢者やその介護に関する問題 24%